

平成 23 年度県政世論調査結果及び  
平成 23 年度県政モニターアンケート結果

## 目 次

I	平成 23 年度県政世論調査	1
1	良好な環境づくりのために取り組むべき課題	1
2	課題を解決するための取組	3
3	環境保全のために心がけていること	4
II	平成 23 年度県政モニターアンケート調査結果	5
1	環境に関する取組と行政の役割	5
	問 1	5
	問 2	6
	問 3	8
	問 4	10
2	COP10 を契機とした生物多様性の保全への取組	12
	問 5	12
	問 6	13
	問 7	14
	問 8	15
3	環境学習・環境保全への取組	16
	問 9	16
	問 10	18
4	経済活動、企業活動、地域活動への支援	20
	問 11	20
	問 12	22
	問 13	24
	問 14	26
5	安心・安全への取組	28
	問 15	28
6	自然、水辺とのふれあい	30
	問 16	30
	問 17	32
	問 18	34

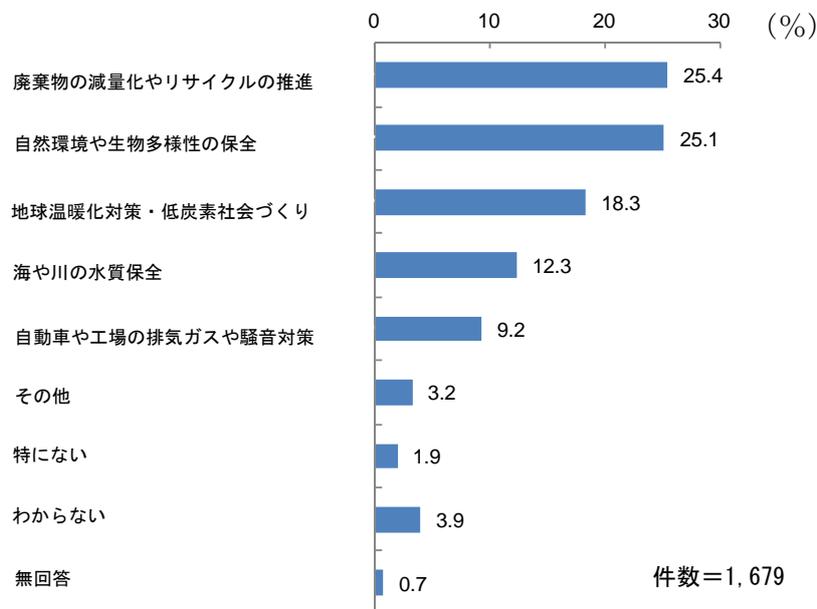
## I 平成 23 年度県政世論調査

- ・調査項目：「これからの環境保全の方向性について」
- ・調査対象：県内居住の 20 歳以上の男女
- ・調査期間：平成 23 年 7 月 1 日～7 月 20 日
- ・標本数：3,000 人
- ・回収数：1,679 人（回収率 56.0%）

### 1 良好な環境づくりのために取り組むべき課題

「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」、「自然環境や生物多様性の保全」が 25%

問 1 地球の環境を良好な状態にして、将来の世代に引き継ぐためには、愛知県はどのような課題に最も重点的に取り組むべきだと思いますか。（○は 1 つ）



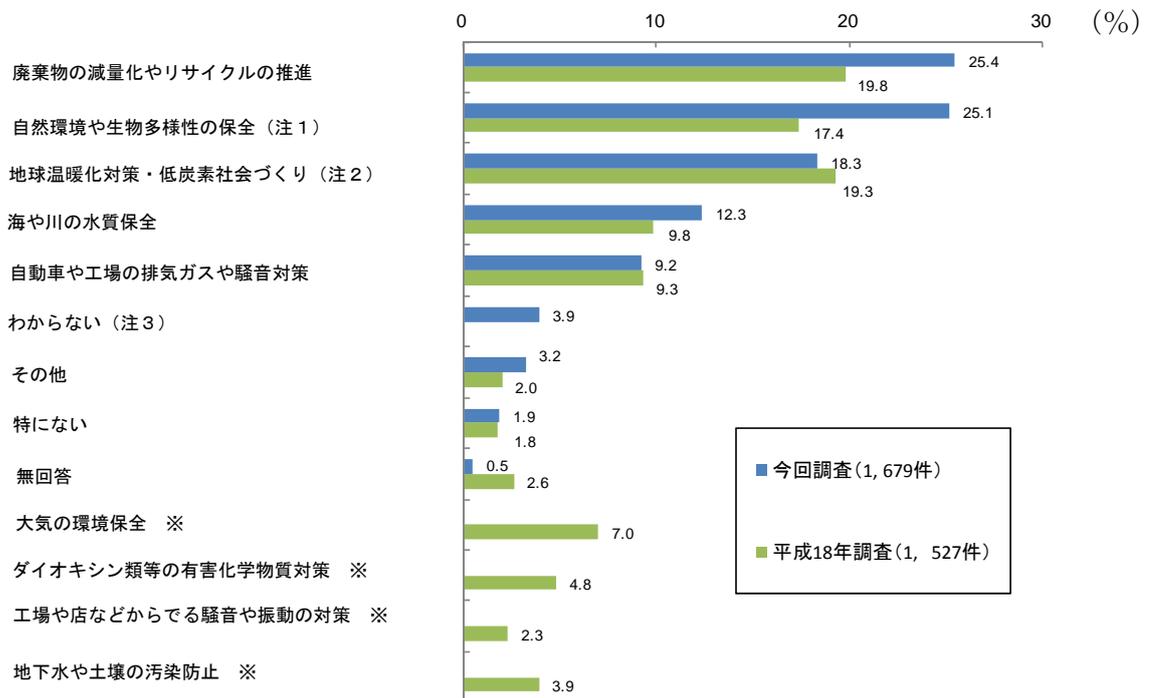
良好な環境づくりのために取り組むべき課題について、「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」と答えた人の割合が 25.4%で最も高く、次いで「自然環境や生物多様性の保全」(25.1%)、「地球温暖化対策・低炭素社会」(18.3%)の順になっている。

## 良好な環境づくりのために取り組むべき課題（時系列比較）

平成 18 年の調査結果と比較すると、「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」と答えた人の割合は、19.8%（平成 18 年調査）から 25.4%（今回調査）と 5.6 ポイント高くなっている。

また、「自然環境や生物多様性の保全」と答えた人の割合は 17.4%（平成 18 年度調査）から 25.1%（今回調査）と 7.7 ポイント高くなっている。

一方で、「地球温暖化対策・低炭素社会づくり」と答えた人の割合は、19.3%（平成 18 年調査）から 18.3%（今回調査）と 1.0 ポイント低くなっている。



（注1）平成18年調査では「身近な自然の保全」となっている。

（注2）平成18年調査では「地球温暖化対策（二酸化炭素の排出抑制など）」となっている。

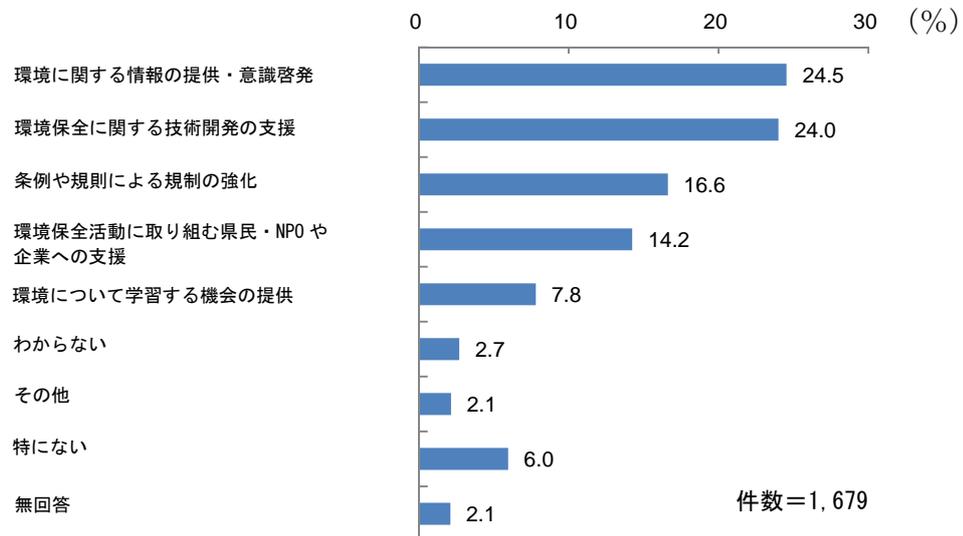
（注3）平成18年調査では「わからない」は選択肢として含まれていない。

※ 平成18年調査では、「大気（空気）の汚れやにおいなど」の環境保全（7.0%）、「ダイオキシン類等の有害化学物質対策」（4.8%）、「工場や店などから出る騒音や振動の対策」（2.3%）、「地下水や土壌の汚染防止」（3.9%）が含まれる。

## 2 課題を解決するための取組

「環境に関する情報の提供・意識啓発」が25%

問2 問1で回答いただいた課題の解決のため、愛知県はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。(○は1つ)

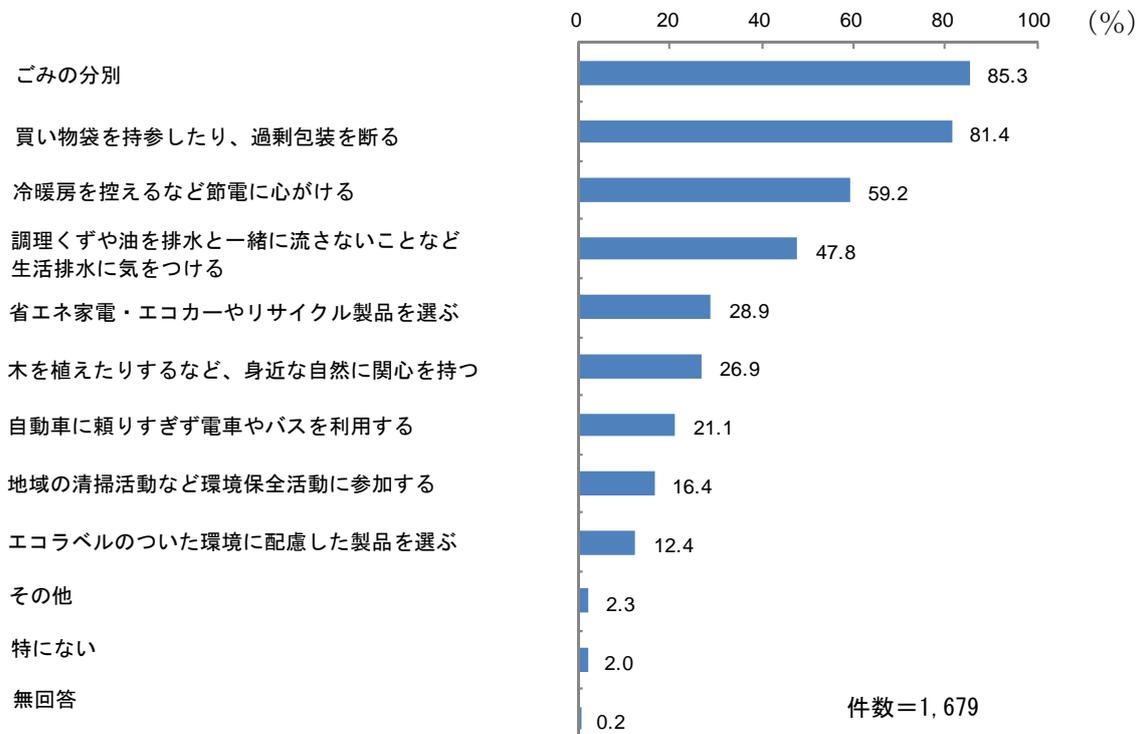


課題を解決するための取組について、「環境に関する情報の提供・意識啓発」と答えた人の割合が24.5%で最も高く、次いで「環境保全に関する技術開発の支援」(24.0%)、「条例や規則による規制の強化」(16.6%)の順になっている。

### 3 環境保全のために心がけていること

「ごみの分別」が85%

問3 環境保全のために、自分で心がけていることはありますか。(○はいくつでも)



環境保全のために心がけていることについて、「ごみの分別」と答えた人の割合が85.3%で最も高く、次いで「買い物袋を持参したり、過剰包装を断る」(81.4%)、「冷暖房を控えるなど節電に心がける」(59.2%)の順になっている。